別紙様式２－３

令和 年度

認可外保育施設

実地指導調査表

ベビーシッター事業所用

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名（事業所名） |  |
| 施設種別 | 法第６条の３第11項に規定する業務を目的とする施設（複数の保育に従事する者を雇用しているものに限る。） |
| 実地指導年月日 | 令和　　年　　月　　日（　　） |

調　査　班

　　　　　　　　　　職　名　　　　　　　　　　　　氏　名

子育て支援課

　　　　　　市町村

　　　　　　　　課

　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　施設名

|  |  |
| --- | --- |
| 指　　　導　　　事　　　項 | 文書・口頭 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**（調査資料・表紙・別紙含め全11ページ）**

**令和　　年　　月　　日現在の状況について、太線の中（各項目及び自主点検欄）に漏れのないよう**

**記入してください。**

　施設設置者及び管理者の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 施　　設　　名 |  |
| 入所定員数 | 　　　　　　　　　　　　人 |
| 施設所在地 | 〒 |
| 施設電話番号 |  |
| 最寄駅 | 　　　　　　　線　　　　　　駅　　　バス・徒歩　　　　　　分 |
| 設置者名 | 注　法人の場合は名称 |
| 設置者住所 | 注　法人の場合は所在地〒 |
| 設置者電話番号 |  |
| 事業開始年月日 |  |
| 管理者氏名 | 注　施設長等貴施設における、保育（現場）の実施責任者の氏名及び職名を記入すること。 |
| 管理者住所 | 〒 |
| 系列施設 | 有（県内　　か所・県外　　か所[直営店・ＦＣ]）　・　　無 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ０　入所児童の状況 | 自主点検欄 | 必要書類等 |
| ①　保育時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 通常開所時間 | 時間外(延長)開所時間 | 備　考 |
| 平　日 | ：　　～　　： | ：　　～　　： |  |
| 土　曜　日 | ：　　～　　： | ：　　～　　： |  |
| 日　曜　日 | ：　　～　　： | ：　　～　　： |  |
| 祝　　　日 | ：　　～　　： | ：　　～　　： |  |
| 休　業　日 |  |

* 時間については、２４時間制で記入してください。
* 常時２４時間開所している場合は、備考欄に「２４時間開所」と記入してください。
 |  |  |
| ０　入所児童の状況（続き） | 自主点検欄 | 必要書類等 |
| ②　　月　日の預かり児童数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　　　分 | ０歳 | １歳 | ２歳 | ３歳 | ４歳 | ５歳以上 | 学童 | 計 |
| １ | 一時預り | １日のうち数時間 預かるもの |  人 |  人 |  人 |  人 |  人 |  人 |  人  |  人 |
| ２ | 月　　極　　め 契　　約 | 昼間 | 引き取り時間が午後８時までのもの（保育所とほぼ同様） |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３ | 夜 | 引き取り時間が午後10時までのもの |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４ | 深夜 | 引き取り時間が午前２時までのもの |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５ | 宿泊 | 引き取り時間が午前２時を超えるもの |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６ | 長期滞在 | ２４時間を超えて続けて預かるもの |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 月極契約乳幼児数計 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |  |
| 総児童数計（一時預り＋月極契約計） | a | b | c | d | e | f | g |  |

 |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １　保育に従事する者の数および資格 | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ①　保育に従事する者が１人で保育している乳幼児の数が１人を超えていないか。　　※当該乳幼児がその兄弟姉妹とともに利用しているなどの場合であって、かつ、保護者が契約において同意しているときは、１人を超えてもよい。 | いる・いない | 児童預かり記録 |  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １　保育に従事する者の数および資格（続き） | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ②　有資格者又は都道府県知事、指定都市市長、中核市市長若しくは児童相談所設置市市長（以下「都道府県知事等」という。）が行う保育に従事する者に関する研修（都道府県知事等がこれと同等以上のものと認める市町村長（特別区の長を含む。）その他の機関が行う研修を含む。）を修了した者であるか。※採用した日から１年を超えていない者については、採用後１年以内に研修を受けることを予定していること。※保育に従事するものに関する研修○居宅訪問型保育研修（基礎研修）○子育て支援員研修（地域保育コース）○家庭的保育者等研修（基礎研修）○ベビーシッター養成研修（公益社団法人全国保育サービス協会が実施）○ベビーシッター現任研修（公益社団法人全国保育サービス協会が実施）○認定ベビーシッター（公益社団法人全国保育サービス協会実施が資格証発行） | ある・ない | 資格証明書（写し）研修修了証（写し） |  |  |  |
| ③　保育士登録証を持っていない者を保育士又は保母、保父等これに紛らわしい名称で使用していないか。 | いる・いない |  |  |  |  |
| ④　保育従事者の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 年齢 | 保育士資格又は看護師資格の有無(資格番号) | 常勤・非常勤の別 | 勤 務 時 間 | 出　　　　勤 | 備　考　　　　  |
| 週の出勤日数 | 休日勤務の有無 |
|  |  |  |  | ～ |  |  |  |
|  |  |  |  | ～ |  |  |  |
|  |  |  |  | ～ |  |  |  |
|  |  |  |  | ～ |  |  |  |
|  |  |  |  | ～ |  |  |  |
|  |  |  |  | ～ |  |  |  |
|  |  |  |  | ～ |  |  |  |
|  |  |  |  | ～ |  |  |  |

注１　経営者でも保育に従事する場合は記入してください。　２　資格については、幼稚園教諭免許のみ取得している者については、「資格」欄でなく「備考」欄にその旨記入してください。ここには保育士又は看護師（准看護師を含む）資格を有する場合に記入してください。　３　常勤職員とは、就業規則等で定められた事業所の所定労働時間を通じて勤務する者のことをいいます。　　（例：１日８時間×週５日＝週４０時間）　４　勤務時間については、２４時間制で記入し、主となる勤務時間について記入してください。 |  |  |  |  |  |
| ２　保育室等の構造設備及び面積 | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ①　事業の運営を行うために必要な広さを有する専用の区画を設けているか。※事業の運営を行う事業所とは、乳幼児の居宅ではなく、業務を行う事業者の事務所であり、必要な書類等を管理する場所等を定めること。 | 　いる・いない | 建築図面（平面図）※必要な書類等を管理している場所を記載すること。 |  |  |  |
| ②　保育の実施に必要な備品等を備えるよう保護者に協力を求めているか。 | いる・いない |  |  |  |  |
| ３　非常災害に対する措置 | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ①　防災上の必要な措置が講じられているか。※火災、地震等の災害発生時における対処方法等（避難経路や消火用具等の場所の確認等を含む。）について定めた業務マニュアルの整備及び取組（保育従事者への周知や定期的な訓練等を含む。）が必要。 | いる・いない | 災害対応マニュアル |  |  |  |
| ５　保育内容 | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ①　乳幼児一人一人の心身の発育や発達の状況を把握し、保育が行われているか。②　乳幼児が安全で清潔な環境の中で、遊び、運動、睡眠等をバランスよく組み合わせた健康的な生活リズムが保たれるように、十分に配慮がなされているか。③　乳幼児の日々の生活リズムに沿った保育が実施されているか。④　乳幼児に対し漫然とテレビを見せ続けるなど、乳幼児への関わりが少ない「放任的」な保育になっていないか。※以下の事項について定めた業務マニュアルの整備及び取組（保育従事者への周知を含む。）が必要。(1)子どもの発達の特徴や発達過程等に関する事項(2)乳幼児への養護的な関わり（授乳、離乳食・食事の介助、睡眠・休息、排泄、入浴、清潔、だっこ等）に関する事項(3)子どもの遊び等に関する事項(4)保育の実施に関して留意すべき事項 | いる・いないいる・いないいる・いないいる・いない | 保育マニュアル児童預かり記録 |  |  |  |
| ⑤　乳幼児の最善の利益を考慮し、保育サービスを提供する者として、適切な姿勢であるか。⑥　保育所保育指針を理解する機会を設けるなど、保育に従事する者の人間性と専門性の向上を図るよう努めているか。※保育に当たっての基本姿勢（子どもへの愛情豊かな関わり、人格の尊重、プライバシーへの配慮等）に関する事項を定めた業務マニュアルの整備及び取組（保育従事者への周知を含む。）が必要。 | いる・いないいる・いない | 研修の受講歴が分かる資料（修了証の写し等）、保育所保育指針 |  |  |  |
| ５　保育内容（続き） | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ⑦　乳幼児に身体的苦痛を与えることや、人格を辱めることがないなど、乳幼児の人権に十分配慮がなされているか。 | いる・いない |  |  |  |  |
| ⑧　利用乳幼児について、虐待等不適切な養育が疑われる場合に、児童相談所等の専門的機関と連携する等の体制がとられているか。※虐待が疑われる場合だけでなく、心身の発達に遅れが見られる場合、社会的援助が必要な家庭状況である場合等においても、専門的機関に対し適切な連絡に努めること。 | いる・いない | 連絡先一覧（児童相談所等の専門機関） |  |  |  |
| ⑨　連絡帳又はこれに代わる方法により、保護者からは家庭での乳幼児の様子を、保育に従事する者からは保育中の乳幼児の様子を連絡しているか。 | いる・いない | 連絡帳等 |  |  |  |
| ⑩　緊急時に保護者へ早急に連絡できるよう緊急連絡先を把握しているか。※かかりつけ医等の緊急時必要な連絡先も併せて把握すること。 | いる・いない | 連絡先一覧（保護者、かかりつけ医等） |  |  |  |
| ６　給食 | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ①　食器類やふきん、哺乳ビン等を使用する際は、衛生面等必要な注意を払い、配膳も衛生的であるか。 | いる・いない該当なし |  |  |  |  |
| ②　乳児にミルクを与えた場合は、ゲップをさせるなどの授乳後の処置が行われているか。　　また、離乳食摂取後の乳児についても食事後の状況に注意が払われているか。重点事項 | いる・いない該当なしいる・いない該当なし |  |  |  |  |
| ③　アレルギー疾患等を有する子どもについて、保護者と連携し、医師の判断及び指示に基づき、適切な対応が行われているか。重点事項 | いる・いない該当なし |  |  |  |  |
| ７　健康管理・安全確保 | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ①　預かりの際、健康状態の観察及び保護者からの乳幼児の報告を受けているか。 | いる・いない | 連絡帳等の報告記録 |  |  |  |
| ②　引渡しの際、預かり時と同様の健康状態の観察が行われているか。保護者へ乳幼児の状態を報告しているか。 | いる・いない | 連絡帳等の報告記録 |  |  |  |
| ７　健康管理・安全確保（続き） | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ③　職員の健康診断を労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）に基づく労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）に基づき採用時及び１年に１回実施しているか。　（直近の診断日：令和　　年　　月　　日） | いる・いない | 健康診断書 |  |  |  |
| ④　食事の提供を行う場合には、提供頻度やその内容等の実情に応じ、検便を実施しているか。（直近の診断日：令和　　年　　月　　日） | いる・いない該当なし | 検便実施結果通知書 |  |  |  |
| ⑤　感染予防のための対策が行われているか。※手指の衛生や咳エチケットの実施等の感染予防策について定めた業務マニュアルの整備及び取組（保育従事者への周知を含む。）が必要。 | いる・いない | 感染予防マニュアル |  |  |  |
| ⑥　睡眠中の乳幼児の顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察し、記録しているか。重点事項⑦　乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせているか。また、乳児突然死症候群への配慮はできているか。　　窒息リスク除去の観点から、医学的な理由で医師からうつぶせ寝をすすめられている場合以外は、乳児の顔が見える仰向けに寝かせているか。　　重点事項※上記の事項を定めた業務マニュアルの整備及び取組（保育従事者への周知を含む。）が必要。 | いる・いないいる・いない | 午睡チェック表午睡マニュアル |  |  |  |
| ⑧　保育中は禁煙を厳守しているか。 | いる・いない |  |  |  |  |
| ⑨　施設の設備の安全点検、職員、児童等に対する施設外での活動、取組等を含めた施設での生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修及び訓練その他施設における安全に関する事項についての計画（以下「安全計画」という。）を策定し、当該安全計画に従い、児童の安全確保に配慮した保育が実施されているか。⑩　職員に対し、安全計画について周知されているとともに、安全計画に定める研修及び訓練が定期的に実施されているか。⑪　保護者に対し、安全計画に基づく取組の内容等について周知されているか。⑫　事故防止の観点から、危険な場所等に対して適切な安全管理が図られているか。⑬　不審者の立入防止などの対策や緊急時における児童の安全を確保する体制が整備されているか。 | いる・いないいる・いないいる・いないいる・いないいる・いない | 安全計画、ヒヤリハットの記録、事故対応マニュアル |  |  |  |

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ７　健康管理・安全確保（続き） | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ⑭　児童の施設外での活動、取組等のための移動その他の児童の移動のために自動車を運行するときは、児童の乗車及び降車の際に、点呼その他の児童の所在を確実に把握することができる方法により、児童の所在を確認しているか。※以下の事項について定めた業務マニュアルの整備及び取組（保育従事者への周知を含む。）が必要。(1)安全計画に基づく取組の内容等を踏まえた事故防止、防犯、安全最優先等シッターとしての心構え(2)保育を始める前の玩具、遊具等室内の安全確認(3)室内、室外の安全確認(4)ケガや急病等における応急手当の方法（実践）(5)「ヒヤリ、ハット」時の事故防止意識の再確認等(6)児童の施設外での活動、取組等のための移動のために自動車を運行する場合の、児童の乗車及び降車の際の児童の所在の確認方法(7)事故発生時における対処方法及び連絡体制(8)事故等発生後における詳細な内容等の報告 | いる・いない該当なし |  |  |  |  |
| ⑮　事故発生時に適切な救命処置が可能となるよう、職員に対し実技講習を概ね３年に１回受講させているか。　（直近の受講日：令和　　年　　月　　日） | いる・いない | 救命処置の訓練実施記録 |  |  |  |
| ⑯　賠償責任保険に加入するなど、保育中の万が一の事故に備えているか。　保険の種類（　　　　　　　　　　）　保険の内容（　　　　　　　　　　）保険金額 （　　　　　　　　　　 ） | いる・いない | 保険証書、契約書の写し |  |  |  |
| ⑰　事故発生時には速やかに県に報告しているか。 | いる・いない該当なし | 事故報告書 |  |  |  |
| ⑱　事故の状況及び事故に際して採った処置について記録しているか。 | いる・いない該当なし | 事故対応記録 |  |  |  |
| ⑲　死亡事故等の重大事故が発生した施設において、当該事故と同様の事故の再発防止策及び事故後の検証結果を踏まえた措置をとっているか。 | いる・いない該当なし |  |  |  |  |
| ８　利用者に対する情報提供の実施状況 | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ①　以下の事項について、書面等による提示等がされているか。１　設置者の氏名又は名称及び事業所の管理者の氏名２　事業所の名称及び所在地３　事業を開始した年月日４　保育提供可能時間５　提供するサービスの内容及び当該サービスの提供につき利用者が支払うべき額に関する事項並びにこれらの事項に変更を生じたことがある場合にあっては当該変更のうち直近のものの内容及びその理由６　利用定員７　保育士その他の職員の配置数又はその予定８　設置者及び職員に対する研修の受講状況９　保育する乳幼児に関して契約している保険の種類、保険事故及び保険金額10　提携している医療機関の名称、所在地及び提携内容(提携医療機関がない場合は、「該当なし」等記載すること。)11　緊急時等における対応方法12　非常災害対策13　虐待の防止のための措置に関する事項14　設置者が過去に事業停止命令又は施設閉鎖命令を受けたか否かの別（受けたことがある場合には、その命令の内容を含む。）※記載内容を網羅していれば、どのような様式でもよい。 | いる・いない「ここdeサーチ」の掲載　いる・いない | 提示書面等 |  |  |  |
| ８　利用者に対する情報提供の実施状況（続き） | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ②　以下の事項について、利用者に書面等による交付がされているか。１　設置者の氏名及び住所又は名称及び所在地２　当該サービスの提供につき利用者が支払うべき額に関する事項３　事業所の名称及び所在地４　事業所の管理者の氏名５　当該利用者に対し提供するサービスの内容６　保育する乳幼児に関して契約している保険の種類、保険事故及び保険金額７　提携している医療機関の名称、所在地及び提携内容(提携医療機関がない場合は、「該当なし」等記載すること。)８　利用者からの苦情を受け付ける担当職員の氏名及び連絡先※記載内容を網羅していれば、どのような様式でもよい。 | いる・いない | 交付書面等 |  |  |  |
| ③　当該サービスを利用するための契約の内容及びその履行に関する事項について、適切に説明が行われているか。 | いる・いない |  |  |  |  |
| ９　備える帳簿 | 自主点検欄 | 必要書類等 | Ａ | 不適 |
| Ｂ | Ｃ |
| ①　職員の氏名、連絡先、職員の資格を証明する書類（写）、採用年月日等が記載された帳簿があるか。 | ある・ない | 関係帳簿、資格証明書（写し） |  |  |  |
| ②　労働基準法等の他法令に基づき、各事業場ごとに備え付けが義務付けられている帳簿等があるか。・労働者名簿（労基法107条）・賃金台帳（労基法108条）・雇用、解雇、災害補償、賃金その他労働関係に関する重要な書類の保存義務（労基法109条） | ある・ない | 関係帳簿 |  |  |  |
| ③　利用乳幼児及び保護者の氏名、乳幼児の生年月日及び健康状態、保護者の連絡先、乳幼児利用記録並びに契約内容等が確認できる書類があるか。 | ある・ない | 関係帳簿 |  |  |  |

※評価基準Ａとは、愛知県認可外保育施設指導監督基準を満たしている事項のことをいう。

※評価基準Ｂとは、愛知県認可外保育施設指導監督基準を満たしてはいないが、比較的軽微な事項のことをいう。

※評価基準Ｃとは、愛知県認可外保育施設指導監督基準を満たしていない事項で、Ｂ以外の事項のことをいう。